

『タスクマネージャ』の使い方

製作者：TA 松田

パソコンを使っている最中にソフトが突然動かなくなったことってありませんか？例えば、『Ozawa-Ken』を実行中にパソコンが全く動かなくなり、ソフトを終了することさえ出来なくなったという経験はありませんか？そういう症状に有効なのが『タスクマネージャ』です。これからタスクマネージャの使い方について説明します。

まず、キーボードの『CTRL』+『ALT』+『DEL』を三つ同時に押します。

すると、図1のような画面が表示されると思います。ここで、[タスクマネージャの起動(T)]をクリックしましょう。

すると、タスクマネージャの画面が表示されていると思います(図2参照)。これを使うと、CPUの使用率の確認や、タスクの終了など、さまざま作業が出来ます。今回は実行中のプログラムが突然動かなくなってしまった時に使用する[タスクの終了]を紹介します。

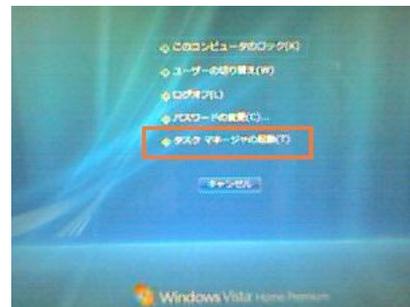


図1 タスクマネージャ呼び出し画面

タスクマネージャにはいくつかのタブがあって、切り替えて使うようになっています。タスクの終了がしたい場合は、実行しているソフトの一覧を表示する[アプリケーション]タブを選びます。すると今回の例では、[Word]が起動されていることが分かります。ここで、図2にも書いていますが、

- ① 終了したいタスクをクリック
- ② [タスクの終了(E)]をクリック

という手順で終了させます。

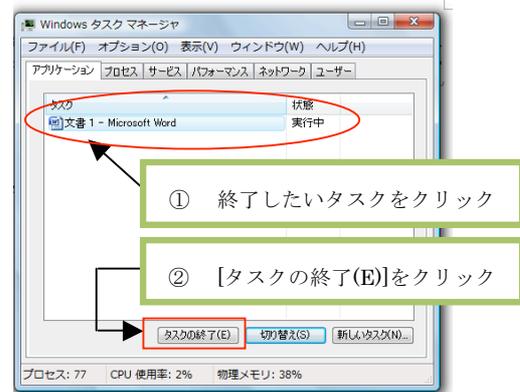


図2 タスクマネージャ

必要な作業が終われば、タスクマネージャの右上にある[×ボタン]をクリックして終了させてください。

以上で説明は終わりです。この機能は『Ozawa-Ken』のような、実行中に右クリックなどが出来ない画面でも有効です。さらに、Windows XPでもVistaでもやり方は一緒です。大変便利な機能なので、出来るだけ覚えるようにしましょう。